学校番号	1006

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、１年に引き続き、美術の幅広い分野について実践的に学びます。
・過去の作家や現代の作家の作品を鑑賞し、多様な美術的価値についてより深く感じられるようになることをめざします。
・１年生で培った基礎を生かし、少し発展的な内容に挑戦します。靴のデッサンでは、より深い観察力を身に着け、鉛筆での表現の幅を広げます。デザイン分野においては、生活や社会の中での美術の役割・はたらきに目を向け、よりよいものをめざして創意工夫します。
・自分で発想し、構想を練り、創意工夫を凝らしながら主体的に制作に取り組むことが必要な科目です。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，美的体験を深め，生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
(2) 造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり，自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性と美意識を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	靴のデッサン	【デザイン】【鑑賞】 ・アルファベットと幾何学形体を使用したポスターデザイン ・色彩分割 ・色のテーマを決めて、統一感を出す。 ・レイアウトやレタリングを工夫してポスターに仕上げる。 ・相互鑑賞	a: アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 b: 条件や美しさから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c: 色と形で美しい構成を表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。	制作の様子 作品	制作の様子 完成作品 制作途中の作品、制作の様子	鑑賞活動の様子や制作の様子 制作の様子
2学期	版画の世界	【版画】彫り進み木版 ・自分のイニシャルの筆記体を使用して下描きを作成する。 ・彫刻刀を使用して、線や自分で考えた模様を彫る。 ・油絵具をインクとして使用し、自分のイメージに合わせて、絵具を選択し、画用紙に刷る。 ・校内展示	a: 彫刻刀や紙や版画用インクなどの用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 b: 表現形式の特性を生かし、色や形体などを工夫して表現の構想を練っている。 c: 版画で表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	制作途中の作品	制作の様子

3学期	オリジナル陶箱制作	【彫刻･立体】 【鑑賞】 ･粘土の扱い方を学ぶ ･陶箱の作り方を学ぶ。 ･創造力を働かせて、粘土をオリジナルの形に成形する。 ･相互鑑賞	a: 陶芸の粘土の特性や加工方法を学び、自分の作品制作に生かすことができている。 b: 粘土の特性を知り、目的を基に主題を生成し、粘土特性を理解して表現の構想を練っている。 c: 立体を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	制作途中の作品	制作の様子、ワークシート、下描き	制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度